

# おおず 市議会だより

2010  
No.25

平成 22 年 8 月 15 日発行

●発行 大洲市議会 〒 795-8601 愛媛県大洲市大洲 690 番地の 1 ☎ 0893-24-1730 FAX0893-23-1121



## 「江湖の港から望む長浜大橋」

文久2（1862）年、土佐藩を脱藩した坂本龍馬は川舟で肱川を下り、夕刻長浜の江湖（えご）で舟を降り、富屋金兵衛邸に宿泊した。

### … 目次 …

2面～3面	6月定例会の概要 表彰など
4面～7面	質疑・質問
8面～10面	常任委員会 議会豆知識 議会日誌

### 6月定例会の日程

(6月)	8日	本会議（開会、提案説明）
	14日	本会議（質疑・質問）
	15日	本会議（質疑・質問・委員会付託）
	16日	総務企画委員会
	〃	厚生文教委員会
	17日	産業建設委員会
	22日	本会議（委員長報告・質疑・討論・表決、閉会）



議会だよりは環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。

# 平成22年度6月補正予算 可決

## 緊急雇用創出事業を追加し 行財政改革等人件費の減額

◆一般会計	1,102万円増額	239億1,102万円	(前年比 - 0.3%)
◆特別会計	3億838万円増額	123億6,448万円	(前年比 - 5.1%)
◆企業会計	5,033万円増額	56億8,969万円	(前年比 - 1.8%)



### 一般会計補正予算 歳出の主な事業

(単位：千円)

#### 総務費

- ・小学校統廃合地域振興補助金……………8,000  
(小学校統廃合の準備と廃校後の地域振興を支援する補助金)
- ・コミュニティ助成事業補助金……………3,600  
(若宮地域郷土芸能保存会、岩谷地域自治会祭り用具整備)

#### 民生費

- ・介護雇用プログラム緊急雇用創出事業……………19,030  
(介護事業所での新規雇用、資格取得による人材育成事業)
- ・地域介護・福祉空間整備等事業……………7,317  
(スプリンクラー設置事業者に対する補助金)
- ・児童扶養手当支給事業……………22,979  
(父子家庭対象分の児童扶養手当)

#### 衛生費

- ・環境実態調査・環境美化業務……………1,330  
(省エネ法改正に伴う調査等経費)

#### 農林水産業費

- ・農用地利用状況調査・データ整理業務……………2,418  
(耕作放棄地等の状況調査)

#### 商工費

- ・「大洲のうかい」船頭育成事業……………2,239
- ・感動案内人等育成業務……………3,989
- ・産業展開催・企業誘致活動経費……………2,109
- ・広域連携推進事業……………2,500  
(大洲市・西予市・内子町による観光交流促進事業)

#### 土木費

- ・踏切一種化工事負担金……………7,600  
(堀之内踏切の警報機・遮断機設置)

#### 消防費

- ・防火・防災普及啓発推進事業……………1,000  
(防火広報用資器材の整備)

#### 教育費

- ・豊かな感動体験推進事業……………1,100  
(平野小学校の宿泊体験活動事業)
- ・学校図書台帳電子化事業……………4,564  
(中学校図書台帳の電子化業務)

## 平成22年 6月定例会



平成22年第3回定例会を、6月8日から22日までの15日間の会期で開きました。

本定例会では、一般会計を初めとする補正予算案件が14件、条例改正関係7件、その他案件5件、請願1件が提出されました。質問には2日間にわたり8人が登壇し、地域活性化対策や行政改革の取り組みなど、本市が直面する課題について市当局の考えをたしました。

付託された議案については各常任委員会審査を経て、提案された議案26件をいずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。なお、請願1件については、不採択となりました。(詳細は次ページ)

人事案件（敬称略）

◆人権擁護委員

・山本 康幸（喜多山）

・上田 弘（若宮）

任期 平成22年10月1日～

平成25年9月30日



訂正とお詫び

市議会だより5月15日発行No.24の3ページ「第1回臨時会」枠内で最終行の旧伊予肱川簡易保険センターの処分価格「3億3,000万円」との記載は「3,300万円」の誤りでした。訂正してお詫びします。

◆議案【市長提出分】

番 号	件 名	議決等結果
第46号	平成22年度大洲市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
第47号	平成22年度大洲市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第48号	平成22年度大洲市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第49号	平成22年度大洲市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第50号	平成22年度大洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第51号	平成22年度大洲市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第52号	平成22年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第53号	平成22年度大洲市港湾施設事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第54号	平成22年度大洲市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第55号	平成22年度大洲市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第56号	平成22年度大洲市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第57号	平成22年度大洲市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第58号	平成22年度大洲市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第59号	平成22年度大洲市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第60号	政治倫理の確立のための大洲市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	原案可決
第61号	大洲市職員の育児休業等に関する条例及び大洲市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
第62号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
第63号	大洲市職員退職手当条例の一部改正について	原案可決
第64号	大洲市過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	原案可決
第65号	大洲市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
第66号	大洲市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
第67号	一級河川肱川広域基幹河川改修事業及び市道天貢線道路改良事業（平成22年度分）の施行に関する委託契約の締結について	原案可決
第68号	財産の取得の変更について	原案可決
第69号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第70号	専決処分した事件の報告並びに承認を求めることについて 専決第1号 大洲市税条例等の一部改正について 専決第2号 大洲市国民健康保険税条例の一部改正について 専決第3号 平成22年度大洲市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	承認
第71号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意

◆請願

番 号	件 名	議決等結果
第7号	「核兵器全面禁止・廃絶国際条約締結を求める意見書」採択についての請願	不採択

◆報告

番 号	件 名	議決等結果
第2号	繰越明許費繰越計算書について（一般会計）	受理
第3号	繰越明許費繰越計算書について（簡易水道事業特別会計）	受理
第4号	繰越計算書について（水道事業）	受理
第5号	繰越計算書について（工業用水道事業）	受理
第6号	大洲市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	受理
第7号	財団法人大洲住宅協会の経営状況を説明する書類の提出について	受理
第8号	有限会社ひじかわ特産開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	受理
第9号	担い手公社河辺やまびこ有限会社の経営状況を説明する書類の提出について	受理

被表彰者・感謝状受領者

（旧町村議員期間は2分の1を通常・敬称略）

◆全国市議会議長会表彰・感謝状

〔一般表彰〕

議員在職15年以上

向井敏憲

議員在職10年以上

矢間一義

〔感謝状〕

地方財政委員会委員長及び地方分権改革・道州制調査特別委員会委員

岡孝志

山下勝利

◆四国市議会議長会表彰

〔特別表彰〕

議員在職16年以上

中野茂明

議員在職12年以上

岡孝志

〔一般表彰〕

正副議長在職3年以上

岡孝志

議員在職8年以上

宮本増憲

議員在職8年以上

岩田忠義

議員在職8年以上

叶岡廣志

◆愛媛県市議会議長会感謝状

前市議会議長

岡孝志

前市議会副議長

村上常雄

# 質疑・質問

6月定例会の  
主な質問項目

## 1 吉岡 猛議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 行政改革
- ③ 地域振興
- ④ 農業問題

## 2 宮本増憲議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 小学校統廃合地域振興補助金
- ③ 地上デジタル放送対策
- ④ 養護老人ホーム
- ⑤ 障害者雇用
- ⑥ 乳がん検診
- ⑦ 米の戸別所得補償
- ⑧ 市道の管理
- ⑨ 公民館

## 3 武田雅司議員

- ① 財政問題
- ② 産業の活性化
- ③ パブリックコメント
- ④ 高齢者対策
- ⑤ 歴史文化を活かした地域観光
- ⑥ 教育

## 4 宇都宮宗康議員

- ① 肱川水系河川整備計画
- ② プレミアム付商品券発行
- ③ 市役所の職場環境

## 5 福積章男議員

- ① 財政
- ② 市有財産
- ③ ノーマイカーデーの効果
- ④ 雇用問題
- ⑤ 子ども手当
- ⑥ スポーツ振興
- ⑦ 国民健康保険
- ⑧ フラワーパーク

## 6 大野立志議員

- ① 公共投資
- ② 集落再生
- ③ 起債適用事業
- ④ 山鳥坂ダム建設事業

## 7 中野寛之議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 観光業の振興
- ③ 米の戸別所得補償制度
- ④ 産直市「愛たい菜」

## 8 梅木加津子議員

- ① 鹿野川ダムトンネル洪水吐き
- ② 学校給食センター事業
- ③ 過疎法の改正
- ④ 国民健康保険

## 行政改革

**問** 第2期行政改革大綱について

**答** 今年度から平成26年度までの5カ年計画となる第2期行政改革では、行政改革大綱において、第1期行政改革と同様、財政の健全化に向けた取り組みについては継続をさせながらも、総合計画に描く大洲市のまちづくりを目指し、時代に合った安定した行財政運営が持続できるように基盤づくりへとつながる改革として取り組むものです。

今後は、市民の生活の安全・安心に結びつく施策や事業をより着実に実施することが求められており、サービスや事業の質にも重点を置く改革へとシフトすることにより、市民生活の向上や地域の発展につながる改革にしていきたいと考えており、市民サービスの向上、地域や市民との協働への取り組みなどを改革事項として位置づけをしています。

こうした第2期行政改革への取り組みにより、5年後の本市の集中改革プラン

の目標として実質公債費比率、財政調整基金、職員数、そして市民サービスの向上を掲げ、これらの目標値が達成されることにより、新たな公共投資が可能となるよう、限られた財源を有効に活用し、市民サービスの向上にも努めながら、市民の皆様方に満足していただける質の高いサービスや施策が提供できる一定の余裕と安定感のある効率的な自治体運営というのを目標としています。

## 米の戸別所得補償

**問** 申請手続きについて

**答** 平成23年度からの戸別所得補償制度の本格実施に向け、今年度より戸別所得補償モデル対策がスタートしました。この制度は、

国が直接農業者へ所得の補てんを行う対策として実施されるもので、加入申請は国の農政事務所へ提出されますが、それらの附帯事務等についてはJA愛媛たいきと大洲市で組織している大洲市水田農業推進協議会



平野・日浦地区の水田

が当たることとなります。

現在、協議会ではより多くの生産者に制度の趣旨や内容を十分に御理解いただくため、また申請手続の周知を図るため、回覧文書や生産者と直接電話連絡をとるなど、推進事務に努めているところとす。

また、今後作付け確認や交付手続などの事務については、国の機関である地方農政事務所と調整を図りながら、JAや伊予喜多農業共済組合とともに連携を密にし、事業推進に努めていきたいと考えています。

## 愛たい菜

### 問 運営状況について

**答** 産直市「愛たい菜」については、4月24日に

オープンし、順調な滑り出しであると同認識しています。売上状況については、約1カ月間で、1日平均約280万円、レジ通過数が1日平均2600人から3000人となっております。

オープン当初は、生産者も従業員も要領を得ないまま大型連休を迎え、出荷量の調整や接客などの対応が十分できず、お客様には御迷惑をおかけする状況が見受けられました。特に、午後からの商品不足は深刻で、その不足を補うため、県内外などからの仕入れ品で対応したこと、オープン当時農産物の市場価格が高騰していたことも相まって、直売所としては割高だと感じられたお客様も多かったと聞いています。

現在では、生産者がみずから売上状況や来客数を分析することで、計画的な出荷ができるようになってい

あり、地元生産者による商品割合が約8割と、当初から比べ1割以上上昇して、価格の設定も消費者に安心してお買い求めいただける価格となっております。

しかしながら、いまだ商品によつては午後から品薄になることがあり、その主な要因の一つに、出荷登録者数が不足していることが挙げられます。当初の計画では、施設の規模に見合う出荷登録者数を1000人から1200人と見込んでいたが、現時点での登録者数は約700名程度にとどまっており、引き続き出荷者の募集に努めるとともに、追加出荷の促進や生産計画



毎日多くの買い物客でにぎわう産直市「愛たい菜」

の策定など、出荷体制の強化を行い、品ぞろえの充実と価格の安定が図られるよう支援していきたいと考えています。また、大洲ブランドとして加工品や特産品などを中心に、多様で特色のある商品を充実させることにより魅力ある店舗づくりが図られるものと期待しているところです。

また、さまざまなイベントや啓発活動を行い、生産者と消費者との交流はもとより、地場産品のPRや地産地消の推進により、多くの方に親しまれる施設となるよう支援を行っていきたいと考えています。

### 地域活性化策

#### 問 経済の活性化について

**答** 短期的な視点としては、

観光農園、いもたきなどの活性化はもちろんであるが、うかい観光についても今年から昼うかいを実施し、うかい料理に地域の特産品を積極的に取り入れるなど、新しいうかい観光のスタイルを模索していると

大洲北只IC付近



ころです。

また、観光客にとって大洲の玄関口となるインターチェンジ付近に産直市「愛たい菜」がオープンしており、観光客が「愛たい菜」に立ち寄り、大洲の魅力ある農産物をはじめ加工品や特産品を購入することで、食を通じて大洲を対外的にPRしていただくことも効果的だと考えています。

また、長期的には愛媛県経済成長戦略2010の観光ビジネスの項目にもあるように、地域に根差した観光振興や東アジアをはじめとした海外からの誘客を図ることも検討していきたいと考えています。

また、生産、商品の加工、

流通を複合化させ、付加価値をつけて高度化を目指すという、いわゆる第6次産業を推進することが大洲市の産業振興、地域の活性化に向けた糸口になるのではないかと考えており、今後皆様の御意見を伺いながら地域活性化の方策を探っていきたくと考えています。

### 雇用問題

#### 問 求職者数の推移と雇用対策について

**答** ハローワーク大洲管内

の有効求職者数については、平成22年3月末現在1317人で、昨年3月末現在1322人とほぼ同数となっております。市町村合併後は、おおむね1100人から1400人前後で推移をしています。なお、有効求人倍率については、平成22年3月末現在0.64倍で、前年の3月末0.49倍、4月末が0.39倍、5月が0.32倍という厳しい数字と比べますと、若干持ち直してきてはいるものの、依然として厳しい雇用環境に変わ

りはない状況です。そのよ  
うな中、当市では、緊急雇  
用創出事業を活用して、平  
成21年度は115人の雇用  
を確保し、平成22年度につ  
いても148人の雇用を確  
保する予定です。この事業  
は、来年度も実施される予  
定ですので、離職を余儀な  
くされた方々に対し、雇用  
の機会を確保するために最  
大限活用していきたいと考  
えています。

また、県が中心となって  
取り組んでいる地域雇用推  
進事業については、失業者  
の方々を対象に再就職への  
支援事業として、調剤薬局  
資格講座、インターネット  
活用講座などの各種講座を  
開催する予定で、市として  
もその取り組みを広報、ホー  
ムページなどを利用し、周  
知していきたいと考えてい  
ます。

また、中・長期的に雇用  
問題を根本的に解決するに  
は、表裏一体である地域の  
経済を活性化させる必要が  
あります。そのためには、  
積極的かつ継続的な産業振  
興施策の展開が必要であり、  
地場産業の振興や新たな産  
業の誘致によって、雇用の

ハローワーク大洲



場を創出することが重要で  
あることから、市では、緊  
急雇用対策事業などの短期  
的対策と合わせて、地場産  
業の育成や企業誘致を柱と  
した産業振興に取り組んで  
いるところです。

### プレミアム付き商品券

**問** 利用状況と今後の方針  
について

**答** この商品券については  
大洲商工会議所が事業  
主体となり、昨年5月と  
11月に販売を行っています。  
商品券の購入者数は、1回  
目の販売では約3150人、

2回目は約6500人の市  
民の皆様を購入をしていた  
だいています。

この事業に対する市の支  
援措置としては、国の臨時  
交付金を活用し、大洲商工  
会議所に対して3300万  
円の補助を行ったもので、  
商品券の換金状況について  
は、1回目の実績としては  
大型店舗が換金総枚数の57%、  
小売店舗が43%、また、2  
回目については、大型店舗  
が60・7%、小売店舗が39・  
3%という換金比率となっ  
ています。

今年度もプレミアム付き  
商品券を発行することにつ  
いては、事業主体となつて  
いただく大洲商工会議所と  
の関連もあるが、現時点で  
は前回のような国からの臨  
時交付金という財源も見込  
めない状況にあるので、市  
単独による財政支援につ  
いては厳しいものと考えてい  
ます。

今後は、厳しい財政状況  
下ですが、景気の動向や景  
気対策に関連する国、県の  
事業等にも注視をしながら、  
地域経済、地域の活性化に  
つながる施策を検討してい  
きたいと考えています。

### 山鳥坂ダム

**問** 建設見直しについて

**答** 昨年の政権交代により、  
できるだけダムに頼ら  
ない治水への政策転換を進  
めるとの考え方にに基づき、  
今後の治水対策のあり方に  
関する有識者会議において、  
幅広い治水対策案の立案手  
法、新たな評価軸及び総合  
的な評価の考え方が検討さ  
れ、今後これらに基づき全  
国のダムが検証される予定  
です。

このことから、約28年と  
いう歳月をダムに翻弄され

放流中の鹿野川ダム



続け、苦渋の選択をいただ  
きました地域の皆様には御  
心労と御負担をおかけして  
おり、心からおわびを申し  
上げる次第です。大洲市と  
しても、生活再建への支援  
について機会あるごとに要  
望に努めているが、その地  
域に根差して毎日の生活を  
続けなければならぬ皆様の  
心情を分かち合い、でき  
ることを少しでも早く実施  
します。身近な行政として、  
水没地域の皆様の目に見え  
ない精神的な苦痛を少しで  
も緩和できればと戸別訪問  
を実施しているところです。

また、日々の生活を送ら  
れる地域の方々の利便性の  
向上という観点から、地域  
振興事業についても、関係  
する機関で役割分担を行い、  
地域の皆様の意見を伺いな  
がら、効果的に実施したい  
と考えています。肱川の中  
下流の治水対策と正常流量  
の確保を推進するためには、  
水没地域の皆様の御理解と  
御協力が不可欠です。

肱川流域では、平成7年、  
16年、17年と、最近の15年  
間で3回の大規模洪水が発  
生し、また昨年は約40年ぶ

りの梅雨時期の濁水にもなっており、治水安全度の早期向上と清流復活が喫緊の課題です。このことから、今後進められる個別ダムの検証においても、地域実情に配慮をした対策が講じられるよう強く要望していきたいと考えています。

## 学校跡地の活用

**問** 廃校跡地利用計画について

**答** 平成23年3月31日をもって廃校となる柳沢、田処、出海及び喜多灘の4つの小学校の校区では、跡地

（廃校後の跡地利用が検討される）  
（出海小学校）



学校行事へ地域住民も参加  
（喜多灘小学校）



利用について具体的な要望が出ています。その内容は、いずれも新しい地域拠点施設として校舎を公民館的なコミュニケーション施設として、また、運動場及び屋内運動場は従来どおり社会体育施設として利用できるよう希望されています。教育委員会では、建物の耐震性のある校舎及び屋内運動場や運動場については、希望に沿えるよう検討していきたいと考えています。

まだ具体的な活用策のない校区については、他地区、地域での活用例の紹介などをを行い、地域の皆様とともに活用策を検討していきたいと考えています。

平成23年4月の小学校統合の準備と並行して、どの地域にも廃校校舎等の活用検討会を開設し地域の皆さんと相談しながら、コミュニケーション活動や地域再生に向けた拠点となるよう対処していきたいと考えています。

## 学校給食センター

**問** 建設事業と運営方法について

**答** 給食センター整備の目的については、完全給食が実施されていない長浜地域の小学校への完全給食の実施、老朽化が進んでいる大洲及び肱川学校給食センターの改築が必要となっていること。新築や改築時に学校給食衛生管理基準で義務づけられているドライ方式を導入し、また非汚染区域を区分して衛生管理の向上を図ることです。

現在、大洲学校給食センターでは調理及び配送等を民間委託しているが、質の高い公共サービスを維持しながら、経済効率性の高い施設整備、事業運営を行う

楽しく給食を食べる子どもたち  
（田処小学校）



ため、全国でも取り組み事例がふえているPFI事業による新給食センター整備の取り組みを進めているところです。

今年度から取り組みを行うアドバイザリー業務においては、給食センター施設の建設や維持管理に、地元企業にどのように参画いただけるのか。児童・生徒に地元で生産された食材を使っておいしくて安全な給食をいかに提供し、地域や農林水産業に親しみを感じていただき、食の大切さを学んでもらうか。特別目的会社では可能な限り地元での雇用をいただくことについて、

重きを置いて検討していきたいと考えています。

今回の新しい給食センター整備事業を契機として、子供さんやお孫さんのために農地を耕し、安全・安心な野菜や果樹を生産していただき供給いただくことによる地域の活性化や生きがいづくり、生産組織や地域あるいは集落で連携を図っていただき、食材の供給体制を整えていただくことによる地域の連帯感の醸成、そして新しい給食センターでは衛生管理や調理のノウハウを持った運営会社により、可能な限り地域の食材を使っておいしくて安全・安心な学校給食を提供していただき、児童や生徒を健やかにはぐくみたいと考えています。



木陰で涼む？出満川のコイ（上須戒）

## 委員会審査

6月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。



### 総務企画委員会

委員長 山本光明

#### ◆小学校統廃合地域振興補助金について

**説明** 廃校となる小学校区の自治会に対し、統廃合を円滑に推進するための準備や、廃校後の地域振興を図るため環境整備などを実施する場合に、廃校となる小



統廃合に向け準備が進む  
田処小学校

## 厚生文教委員会

委員長 水本保

#### ◆児童扶養手当支給事業について

**説明** 低所得の母子家庭にのみ支給されている児童扶養手当が本年8月1日より低所得の父子家庭にも支給拡大されることとなった。

#### 問 父子世帯について

**答** 父子世帯は現在161世帯であり、そのうち

支給対象世帯数見込みは151世帯である。また、子どもの人数については、第1子が151人、第2子が56人、3子以上が17人それぞれ見込んでいる。支払いは4月、8月、12月の年3回で前月までの4ヵ月分が支給され、11月末までに申請をしていただければ、8月分から支給される。

#### ◆図書館運営について

#### 問 開館時間について

**答** 現在午前9時30分から午後6時までとしているが、今後の開館時間検討の基礎資料とするために、

定期船が発着する青島港



#### 問 補助金の活用方法について

**答** この補助金は小学校が廃校になった地域の振興を図るという目的であり、

廃校前後の短期間に事業を実施していただくことが、より効果的であると判断し、4年間の限定とし、記念式典の開催や記念誌・記念碑の作成費用、或いは、防犯灯やバス待合所など環境整備に対する経費を想定している。

#### ◆離島航路運営事業について

#### 問 補助金について

**答** 離島航路整備法の指定を受けて運行している青島・長浜航路を運営する

青島海運に補助するものであり、現実的には、離島航路であり利用が限られるため、船賃や小荷物料金などの収入で運営することは困難である。

#### 意見

島民の生活に欠くことのできない交通手段に対する非常に重要な事業であり、費用対効果だけでは片付けられないことは十分理解しているが、例えば長浜が龍馬の「いろは丸」に関連深いという史実を活用するなど、新たな発想で対策を検討されたい。

#### 問 運営状況について

**答** オープン翌月の平成21年2月には入館者が約2万3000人を超えたが、その後は徐々に落ち着き、現在は、平日が400人から500人、土日・祝日には700人から800人という状況で、1ヵ月約1万2000人で推移している。

オープン1年半を迎えた図書館







## 産業建設委員会

委員長 福積章男

◆うかいの船頭育成事業について

### 問 事業内容について

**答** 船頭の高齢化、後継者不足の解消を図るために現役の船頭から研修を受けノウハウを得ることにより卓越した技術を継承し、船頭としての接遇や意識の向上、及び後継者の育成を図ることが目的である。

### 問 昼うかいについて

**答** 6月6日に昼うかいの開幕式を行い、8隻80

今年から始まった昼うかい



人の方に乗船していただき、現在までの予約状況は最終日までに34隻376人である。今後さらにPRを重ね、お客様の多様なニーズにお応えするため、アンケートをするなど改善を行う必要がある、大洲特産の食材を利用した弁当を提供するなど趣向をこらして、観光客の満足度を高め、リピーターの確保をめざし、関係者と協議していきいたいと考えている。

### ◆資源活用調査について

### 問 調査の目的について

**答** 資源の有効活用による地球温暖化防止をめざし、本市ではバイオマスダウン構想を策定する予定であるが、その策定準備に向け、燃料資源となる間伐材や食品廃棄物などのバイオマスの賦存量が大洲市にどれくらいあり、どのように利用するのが効果的であるかを調査する計画である。

### ◆企業誘致と地場産業展について

### 問 誘致活動について

**答** 現在、民間調査会社に委託し、最先端業種の企業209社を抽出して、立地についてのアンケート調査とパナソニック跡地の案内を行っている。今後1社ずつ電話で追跡調査を行ううえで、可能性のある企

業には、訪問を重ね、積極的に誘致活動を行う計画である。また県が東京において開催する予定の「えひめ産業立地フェア」に当市からも参加する予定である。

### 問 地場産業振興について

**答** 市長の市内企業訪問に加えて、今年度は新商品の開発や販路開拓に対する支援の一環として、市民に対して地場産品の認知度を高めていただくため、大洲市地場産業展を開催する計画である。

## 常任委員会行政視察

### 総務企画委員会

NPOによるコミュニティ機能の創出と地域活性化対策、災害弱者に対する防災点検及び緊急通報システム事業、防災学習交流センター事業について調査。(左写真は北海道千歳市防災学習交流センター)



### 厚生文教委員会

学校給食共同調理場整備事業(PFI事業)、保育所と障害児施設併設/地域密着多機能施設、子育て支援政策について調査。(右写真は山形県東根市学校給食共同調理場)

### 産業建設委員会

起業化支援センターとビジネスインキュベーター事業、グリーンツーリズムと定住促進事業、日本のふるさと再生特区、観光物産情報発信施設について調査。(左写真は岩手県花巻市起業化支援センター)



# 議会豆知識

## ～議会の役割～

- Q. どんなことを決めるの？
- A. 条例や予算の決定、決算の認定、重要な契約の締結など、法律で定められています。
- Q. 一般質問とは？
- A. 議員が、市政全般にわたり市長部局や教育委員会などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について説明や報告を求めたり、疑問をたずねることです。
- Q. 質疑とは？ 討論とは？
- A. 質疑とは、議題となっている案件について、議員が賛成・反対の判断をくださるために、不明な点や詳しく知りたい点をたずねることをいいます。また討論とは、採決される前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。



長浜幼稚園の子どもたち  
(長浜海水浴場の海開き)

### 議 会 日 誌

#### 《3月》

26日・一部事務組合議会定例会(3議会)

29日・八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会

#### 《4月》

7日・愛媛県市議会議長会春季定期総会(西条市)

13日・群馬県前橋市議会展政視察来市

15日・園遊会(東京都)

19日・全国市議会議長会地

長浜町穂積の滝



### 涼

#### 《5月》

7日・議会運営委員会

10日・四国市議会議長会定期総会(高松市)

11日・産業建設委員会行政視察(花巻市、遠野市、東京都)

13日・全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)

17日・総務企画委員会行政視察(滝川市、旭川市、札幌市、千歳市)

17日・四国西南サミット(四万十市)

19日・厚生文教委員会行政視察(東根市、山形市、鶴岡市、秋田市)

25日・全国市議会議長会理事會(東京都)

26日・全国市議会議長会定期総会(東京都)

27日・市議会議員共済会代議員会(東京都)

31日・愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会理事會・総会(伊予市)

《6月》

1日・議会運営委員会

7日・国道197号(大洲・須崎間)愛媛県側整備促進期成同盟会定期総会

”・国道441号(大洲・鬼北間)愛媛県側整備促進期成同盟会定期総会

8日・第3回定例会

### 編集後記

梅雨の不快を和らげてくれた…日本が出場したサッカー・ワールドカップ。見ず知らずの観客が手を取り合って喜び、また共に健闘を称え合い涙ぐむ選手たちの姿に、わたしたちも深い感動に浸りました。どんな逆境であろうとも、様々な主義・主張を超越し、一致団結して一つの目標に進むこと…私たちの日常生活、まちづくりにも大きなヒントをいただいた、そんな気がします。

現在の厳しい経済情勢の中、私たちは明るく住みよい大洲市を目指し、議会としての責務を果たしていきますので、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



轟の滝(肱川町)